

バイテク情報普及会・第2回高校生科学教育大賞の受賞について

2018年6月11日、バイテク情報普及会より第2回高校生科学教育大賞の受賞校が発表されました。この賞は高校生を対象として、「持続可能な農業」や「植物バイオテクノロジー」をテーマとした研究活動で優れた発表をした高等学校や高等専門学校の教員と生徒に授与されるものです。最優秀校として、広尾学園高等学校の2年生石田萌音さんの研究「シロイヌナズナ感受性変異体を用いたカドミウム耐性機構の解析」が選ばれました。この研究は石井さんが自身で発案したものであり、その研究レベルの高さ、計画性ならびに本人の将来性の高さ等を評価されての受賞となりました。植物科学分野における石井さんの今後のご活躍が期待されます。日本植物細胞分子生物学会理事会からもこの度のご受賞を心よりお祝いいたします。

石田さんは8月に石川県金沢市で開催される第36回日本植物細胞分子生物学会講演会で講演発表を行う予定です。本会員の皆様、ご聴講をお待ちしております。



石田さんの受賞の様子

受賞の様子は、以下のリンクからご覧になれます。

<http://www.hiroogakuen.jp/weblog/archives/30398>

<https://cbijapan.com/education/>